1
January 2018
No.739

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 年頭所感（会長　浦田 健二）…… 3
- 年頭所感（日歯会長　堀 憲郎）…… 4
- 理事会報告 …… 5
- 報告（財務検討臨時委員会）…… 7
- 笑顔ヘルCキャンペーン …… 8
- 委員会報告 ……11
  （学校歯科、センター・介護）
- 郡市会報告 ……12
  （熊本市、天草郡市、阿蘇郡市、荒尾市、上益城郡、玉名郡市）
- 年男・年女インタビュー ……18
- リレー投稿⑬ ……22
- つどい ……23
  （剣道部・ボウリング部）
- グルメハンター ……26
- 新樹会報告 ……27
- 訃報 ……28
- 新入会員 ……28
- 会務報告 ……29

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

明けましておめでとうございます。

戌（犬）は勤勉で努力家、忠実で社会性があることから献身、安全の象徴と言われています。さらに、家族を大切にし、子供をたくさん産むことから、子孫繁栄や子宝を象徴する動物と考えられています。小生も３人の子宝に恵まれたが、誰も後を継いでくれないので、今からもう１人？手遅れだ！

今年もよろしくお願いします。　（T・K）

年頭所感

熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

熊本地震より二回目の新年を迎えましたが、まだまだ復旧、復興は道半ばです。中小企業等グループ補助金の交付決定は何とか昨年末90パーセント近くにまでになりましたが、工事の進捗状況はまだまだ満足のいくものではありません、今年こそは、すべての被災会員の復旧、復興が終了できますようにお祈りしております。

さて、昨年は政府の政策方針である「骨太方針2017」に「生涯に亘る歯科健診の充実や歯科保健医療の充実を図る」と明記され、歯科界にとりまして画期的な年となりました。その方針により厚生労働省の平成30年度歯科保健関連の概算要求は、29年度のおよそ３倍となり、最終的には30年度予算の決定待ちですが、過去に無かった快挙だと言えます。更に、診療報酬改定は診療報酬本体プラス0.55％、歯科の改定率はプラス0.69％となり二年前の改定率を上回りました。決して満足のいく結果とは言えませんが、プラス改定は評価できます。後は４月からの改定に向けて、点数の貼り付けがどのように成っていくのかを注視していきたいと思います。

本県におきましても今年は、熊本県第７次保健医療計画、熊本県第４次歯科保健医療計画等の策定が３月までに決定されますので、その対応をしっかりと行い本県の歯科保健医療の推進を更に確実なものに出来ればと役員一同議論を重ねております。

今まさに歯科には少し追い風が吹いている気がします。その風を確実なものにする為に、いかに歯科保健医療を通じて県民の健康維持、増進に貢献出来るか、そして健康寿命の延伸に貢献出来るか、我々の果たすべき役割は益々大きなものになっています。今年はそのことを自覚し、真摯に何事にも対応していきたいと思います。

最後になりますが、今年一年が会員の皆様にとりまして良い年となりますように祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

年頭所感

公益社団法人　日本歯科医師会会長　　堀　　憲　郎

明けましておめでとうございます。全国の会員の皆様、そして関係者の皆様には、つつがなく新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年６月に新しい執行部が発足して半年、一昨年３月に会長に就任してから１年９カ月が過ぎました。昨年の年頭所感では「会長就任当時に歯科界全体の混乱があったものの、長年に亘る歯科界からの発信により、歯科医療や口腔健康管理の重要性について国民的な理解が進み、歯科界にも活性化の兆しが見えている。更なる活性化に向けてスピード感をもって取り組みたい」と申し上げました。

改めて、昨年を振り返れば、６月に閣議決定された国の施政方針である「骨太の方針2017」に「生涯に亘る歯科健診の充実や歯科保健医療の充実を図る」と明記されるなど、各方面からの歯科への理解と期待は更に高まっています。また９月に公表された「平成28年度歯科概算医療費」からは、決して大幅とは言えませんが、活性化の兆しが28年度も継続していることが読み取れます。平成13年度以降減り続ける傾向にあった歯科医療費は、平成21年度以降は一度もマイナスに転じることなく経過しています。

会長就任当時に掲げた「日本歯科医師会の28課題」は、昨年６月に発足した新執行部で、改めて再整理しましたが、その中には例えば最重点項目の一つとして「歯科における新しい機能、新しい技術を開発し、診療報酬改定時期以外に保険収載する仕組みを活用し、歯科界全体の更なる活性化をはかる」という課題がありました。この課題について、歯科活性化会議を立ち上げて、そこで臨産学官一体となった議論を進めた結果として、暮れの12月からの「大臼歯CAD/CAM冠の保険収載」が実現しました。学会、産業界等を含むオールデンタルでの取り組みが結実したものと認識し、各方面のご尽力に感謝申し上げるとともに、まだ歯科にとっては緒に就いたばかりのこの取り組みを更に推進して参ります。

また、間もなく全容が確定する平成30年度の同時改定については、改定対策本部の方針を日本歯科医学会、日本歯科医師連盟とも共有しつつ、明確な問題意識をもって対応してきました。更に改定議論の中で、いくつかの重要な懸案事項についても、その解決に向けて取り組んでいるところです。今年４月からは同時改定の結果を踏まえ、新しい仕組みのもとで、歯科からの医療、介護サービスの提供が円滑にできるように対応を進めます。

現執行部は「新しい歯科医療提供体制の確立と推進」「日本歯科医師会の組織強化」「歯科医療従事者の環境の充実・向上」という三つの会務執行方針の柱を掲げています。三つの柱には20を超える具体的な課題がありますが、その中には「超高齢社会の疾病構造にあった新しい歯科病名の検討」などの他、「歯科における国際戦略の展開」「若い人材の登用」や「ナショナルデータベースの歯科からの活用」といったチャレンジングな課題も存在します。ナショナルデータベースに関しては、既に日本歯科総合研究機構が、実に230万件の医科と歯科のレセプトを突合分析し「歯の数が多いほど医療費が低い」との結果をまとめました。今後も広く知恵を結集して、これらの課題に取り組みたいと思います。

日本歯科医師会は、国民の健康と生活を預かる医療人の集団として、凛とした品格をもった組織であることを旨とし、今年も創意工夫と柔軟な発想をもって、歯科界の更なる活性化に向けて邁進して参ります。本年が皆様にとって良い年となり、また歯科界の飛躍の年となることを祈念してご挨拶といたします。

理事会報告

来年に向けてしっかりした体制を構築していきたい

― 第７回理事会 ―

11月21日（火）午後７時より県歯会館において、浦田会長他西野監事を除く全役員の出席のもと開催された。

１．開会：伊藤副会長
２．挨拶：浦田会長

寒くなりましたので、体調管理には充分お気を付けください。今年もあと１か月余りとなりました。今年も忙しい１年でしたが、役員の先生方には様々な場面でご活躍をいただきありがとうございました。残りわずか気を緩めずに会務に対応して頂き、思う存分能力を発揮してください。

本日、県庁の担当者が、先般、中間発表のありました災害関連死の概況についての詳細な内容を説明するために来館されました。最終的な報告書完成に向けての意見交換もさせていただきましたので、本会の災害時の活動・対応についても検証できる資料になる様お願いしました。また、避難所等で被災者に保健関係の聞き取りをする際に、歯科の項目が一切無かった事への申し入れをしましたら、熊本県版ということですでに歯科の項目が入った資料案を頂き、加筆・訂正等あれば連絡くださいとの事でした。現在、牛島専務理事が全国各地から災害対策の講演依頼があり飛び回っておられます。今後、他県にも災害時の対応として参考になる報告書となる様、ご協力の程よろしくお願いいたします。

先日、全国学校歯科医協議会に出席した際に、児童虐待予防として、三重県の10年間の活動内容を聞きました。本当にすばらしい対応をされトップランナーであると思いますし、資料もいただいてきましたので、今後、本県でも児童虐待予防の面で我々歯科医師が協力できればと思っています。

最後に役員の先生方は忙しい毎日だと思いますが、引き続き宜しくお願いいたします。ガンジーの言葉に「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」とあります。いつ死んでもいいように生きていくということ、永遠に生き続けると思って常に学び続けなければならない。是非、この言葉を胸に秘めて頑張っていただければと思います。今年も残り少なくなりましたが、来年に向けてさらにしっかりした体制を構築していきたいと思いますのでどうかよろしくお願いいたします。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：中嶋監事、浦田会長
５．平成29年度会務報告：
（自：10月23日～至：11月16日）

本会総務：理事会、常務理事会、各郡市会長・専務理事連絡会議、各委員会次年度概算要求協議、地域の口腔がんを考えるシンポジウム、都道府県専務理事連絡協議会
学　　術：モリタ共催学術講演会
社会保険：保険個別指導
地域保健：笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント
学校歯科：全国学校歯科保健研究大会、全国学校歯科医協議会
医療対策：医療対策講演会、医療相談苦情事例
センター・介護：県歯科保健推進会議
総務・医療連携：がん拠点病院研修会
学　　院：推薦入学試験

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：
１．表彰
●叙勲（11月３日付発表）
旭日双光章：工藤 晃正　会員（菊池郡市）
瑞宝双光章：犬塚 隆雄　会員（八代）
２．事務局人事
●石川 祐香　職員の産前産後・育児休業に伴う派遣会社との契約
石川 雅子　11月１日付契約
３．糖尿病・歯周病医療連携事業
事業のこれまでの経過と阿蘇圏域における糖尿病連携基本ルールについて報告がなされた。

4．明治安田生命保険相互会社の集団扱制度の変更（割引率の引き下げ）
　加入者数が、今までの保険料割引率が適用される人数を下回ったため、11月保険料より割引率が引き下げられることとなった。なお、加入者への通知は生保会社より行われる。
5．事業企画書
●厚生・医療管理委員会：医療管理講演会（労使間トラブル110番・２月10日）
6．事業実施報告書
●学術委員会：モリタ共催学術講演会（10月29日）
●９月末がん及び回復期の医科歯科連携事業
7．10月末会計現況
8．その他
●日歯報告
　堀会長が自民党及び公明党の政策要望懇談会において、健康寿命の延伸に向けて（日歯制度・予算・税制等に関する要望）と題して資料をもとに説明を行った旨が、都道府県専務理事連絡協議会にて報告があった。

7．連絡事項：
1．12月行事予定
2．その他
●医療管理関係
　12月１日より、ホワイトニングが特定商取引法及び割賦販売法の規制の対象となり、患者側がクーリングオフや中途解約が出来る旨を、12月の全会員発送時に同封し周知する。

8．承認事項：
1．新入会員の承認〔承認〕
松田　充博（第１種／熊本市）、牛島　瑛久（第３種）、渡邊　裕平（第３種）計３人の入会を承認した。
※29年度入会状況（11月末現在）：第１種・12人、第２種・６人、第３種・７人、第４種・２医療機関
2．後援名義の使用依頼〔承認〕
●第４回高齢者医療臨床研修会／日本老年歯科医学会
●日本医療マネジメント学会第20回熊本支部学術集会／日本医療マネジメント学会
3．「東部スポーツクラブふれあいフェスティバル」バレーボール大会への協力依頼〔承認〕
　昨年度と同様に、協賛品を提供することとした。

9．議題：
1．第11回県医療・保健・福祉連携学会の賛助金〔承認〕
　昨年度と同様に、５万円を寄附することとした。
2．平成30年度総務の事業計画（案）〔承認〕
　事業計画案どおり承認し、３月の臨時代議員会へ提出することとした。
3．平成30年度各委員会事業計画並びに予算（案）〔承認〕
　事業計画案並びに予算案どおり承認し、３月の臨時代議員会へ提出することとした。
4．平成30年度第２回臨時代議員会日程（案）〔承認〕
　日程案どおり承認した。なお、協議において現在、財務検討臨時委員会でも検討中の終身会員の年齢等引き上げについて代議員の意見を聴くこととする。
5．会館利用内規の一部改正（案）と会館利用取り決め事項（案）〔承認〕
　一部文言を追加して承認した。
6．平成29年度「中国・四国」「九州」地区役員連絡協議会提出協議題回答〔承認〕
　回答案どおり承認した。
7．第17回警察歯科医会全国大会開会式及び大会参加費・懇親会費〔承認〕
　開会式の登壇者は今後、日歯との調整を踏まえ実行委員会で検討することとした。
　大会参加費は3,000円、懇親会費は7,000円とすることとした。
8．平成29年度第２回九地連協議会の運営〔承認〕
　運営内容について承認した。
9．県への平成30年度当初予算に対する要望書〔承認〕
　４つの要望書案について承認し、自民党県連へ提出することとした。なお、要点を簡潔にまとめた１枚版の要望書を、日歯・日歯連盟に倣って作成し、あわせて提出することとした。
10．ＫＡＢ朝日放送からの熊本城ホール／辛島公園地下駐車場等「指定管理者」の申請に伴う協力依頼
　医師会、薬剤師会の動向を踏まえて、次回の常務理事会で協力するか否かを決定することとした。
11．平成29年度県委託（補助）事業に係る予算〔承認〕
　がん診療医科歯科病診連携推進事業並びに回復期医科歯科病診連携推進事業の予算明細書案について承認した。
12．平成30年度県後期高齢者歯科口腔健康診査に伴う健診単価〔承認〕
　後期高齢者医療広域連合から提案のあった健診項目及び健診単価について承認した。

10．協議事項：
11．監事講評：
12．閉会：小島副会長

（竹下　憲治）

報　告

終身会員年齢の引き上げ＆会費等の見直しの検討始まる!!
～将来にわたり健全な会務運営を継続するために～

― 財務検討臨時委員会 ―

平成28年１月開催の各郡市会長・専務理事連絡会議に提出された「会員数と会費収入の将来予測」によると、会員の高齢化が進むにつれて、正会員数の減少と終身会員の増加による著しい会費収入の減少が、予想される。このことは非常に深刻な問題であり早急な対応が必要と考えられる。将来にわたり本会が健全な会務運営を継続するために必要な、会員平均年齢の上昇への対応および会費等の見直しについてご検討いただきたい。

また近年、70歳以下（終身会員となる前）の会員が疾病等の理由でなく閉院し、退会にいたる事例が見受けられる。このような会員の救済措置として、会費減免等の必要性の有無、実施する場合の具体策についてもご検討いただきたい。

上記の諮問を受け、財務検討臨時委員会を設置し、これまでの協議経過の概略を報告する。

『会費見直しに係る重点項目』

⑴　終身会員の年齢引き上げ

⑵　70歳以下の会員が疾病等の理由以外により閉院した場合の会費減免等の必要性

『現在までの検討事項』

1．九州各県の情報を収集し、日歯に合わせて終身会員の年齢を70歳から75歳に、会員としての在籍年数を30年から35年に引き上げること。

2．終身会員の年齢引き上げ時期については、平成34年度（日歯の経過措置が終了した翌年度）から一斉適用する方法と日歯の経過措置の終了年度（平成33年度）に合わせて経過措置を設定する方法を選択肢として検討すること。

3．会員に対し周知徹底を図り、理解を求めること。

4．本会財政運営は継続して注視すること。

委員会開催日　第１回　８月30日
　　第２回　10月16日
　　第３回　11月27日

【財務検討臨時委員会名簿】

役　職	氏　　名	役　職	氏　　名
委員長	菅　原　　洋	委　　員	田ノ上　　輝
副委員長	赤　城　公　徳	委　　員	渡　辺　猛　士
委　　員	荒　木　　靖	委　　員	高　田　博　樹
顧　　問	（弁　護　士）福　岡　聰一郎		
	（公認会計士）吉　永　賢一郎		

（竹下　憲治）

笑顔ヘルＣキャンペーン

― 中央イベント ―

11月５日（日）午前11時から、熊本市上通びぷれす広場において「笑顔ヘルＣキャンペーン 中央イベント」が、本会と熊本日日新聞社の主催、県歯科衛生士会の共催、熊本県の後援、㈱花王の協力の下、開催された。

このイベントは「180万人熊本県民お口の健康運動」として歯の健康の重要性に関する啓発と健康維持に必要な正しい知識の普及を図ることを目的とし、11月８日の「いい歯の日」に合わせて毎年開催し、今年で22回目となる。

会場では、渡辺副会長の挨拶に始まり、街頭での歯科に関するアンケート、歯科相談、口臭チェック、歯磨き指導、熊本歯科衛生士専門学院の紹介、ヘルＣ写真コンクール作品展示を行った。また、設置された演台では、紙芝居、人形劇、輪投げを一般公開形式で行った。

アンケートでは1,001人の回答を得て、「8020運動」を知らない、「かかりつけ歯科医院」が無い、「定期的に歯科受診」していない等の回答も少なからず見受けられ、さらなる歯科啓発の必要性を感じた。また、歯科相談に61人、歯磨き指導・口臭チェックに66人の参加者があった。

来年もイベントを大いにアピールし、イベントを通して県民の歯の健康に対する意識を高めていきたいと思う。

（蔵本 茂禎）

渡辺副会長の挨拶

頑張るぞ　エイエイオー！

歯科医師による歯科相談コーナー

アンケートに記入する親子

輪投げに熱中

マスコットのキリンさん大人気

アンケートお願いします

多くの方々がモニターにくぎづけ

紙芝居で歯科啓発

ヘルＣ写真コンクール入賞作品

気合が入る学院生

歯の模型に興味津々

歯科衛生士会の歯みがき指導、口臭チェック

今年もやって来たフッソマン

上手にみがけたかな？

八　代　これからの笑顔ヘルＣキャンペーン

11月11日（土）午後２時から、八代歯会口腔保健センターにて、笑顔ヘルＣキャンペーン・歯科相談を行った。

例年はこの時期にハーモニーホールで行われるふれあいフェスタの中での開催であったが、八代市健康推進課のヘルスアップコーナーが６月の歯の祭典と同時に行われることになったため歯科医師会単独での事業となった。

高野・溝口理事と地域保健委員会のメンバーが、歯科衛生士会、歯科技工士会の協力のもと準備を整え当日を迎えた。内容は歯科相談、ブラッシング指導、口腔ケアグッズ配布で、好天にも恵まれ多数の来場者が期待されたが、告知不足のためか来場者20人ほどのさみしい結果となってしまった。そんな中でも来ていただいた方々は自分たちの口の中について関心があり、口腔の健康維持に積極的な人ばかりで、その方々ひとりひとりに時間をかけてお話を聞くことができ、いつもより丁寧に対応できたようにも思える。歯科衛生士会にお願いしたブラッシング指導も熱心に行われていた。

例年以上に時間をかけて丁寧な対応

例年笑顔ヘルＣでは70人ほどの来場者があり、そのほとんどが高齢の方である。折しも平成28年歯科疾患実態調査によれば、8020の達成率は50％を超えたそうである。

これからの笑顔ヘルＣキャンペーンのありかたも考える時期にきたのではないかと思われる。

（高田　博樹）

天草郡市　歯科啓発の必要性を感じたイベント

11月18日（土）午後1時より、天草市民センター体育館において、笑顔ヘルＣキャンペーン（天草）を、今年は火の国ボランティアフェスティバル天草のブースとして開催した。

このイベントは「歯の健康の重要性に関する啓発と健康維持に必要な正しい知識の普及を図ること」を目的とし、11月８日の「いい歯の日」に合わせて毎年開催し有意義な啓発事業として確立している。

今年も、歯科相談を中心に来場者にサンプル提供を実施した。8020運動を知らない、かかりつけ歯科医院が無い、定期的に歯科受診していない等の相談も少なからず見受けられ、さらなる歯科啓発の必要性を感じた。関係各団体の多大なるご協力により例年通り、歯科的健康の重要性が大いにアピールできた。

火の国ボランティアフェスティバル天草のブースとして開催

（小田　哲也）

委員会報告

フッ化物の応用で健口長寿を

― 第39回むし歯予防全国大会 ―

学校歯科

10月21日（土）午後２時より、くまもと森都心５Ｆプラザホールにおいて、テーマを健口長寿～フッ化物の応用・継続の力～と題して開催された。主催はNPO法人日本フッ化物むし歯予防協会（日Ｆ）で、全国より357人もの多くの参加者が来熊し、海外からも釜山大学より10人の参加があった。

まず、大会会長である浦田会長、日Ｆの山内会長の挨拶の後、蒲島県知事、大西一史熊本市長の祝辞があり、更にくまモンも登場し“くまモン体操”を来場者と共に踊り、会場は大変盛り上がった。

基調講演は、石上和男新潟医療福祉大学教授による「フッ化物の応用で健口長寿を目指そう～12歳児のむし歯が少ない新潟県・17年連続日本一の取り組み～」を演題に行われた。46年間に及ぶ新潟県での予防の取り組みについて、フッ化物洗口を継続して行うことが大切であると強調され、今後の展望についても話された。

シンポジウムでは、大林理事を座長に４人の方々が講演された。まず、県健康福祉部の井上秀代参事が「熊本県におけるフッ化物洗口事業の取り組みについて」と題して熊本県では、12歳児の一人当たり平均むし歯数がH21年度には2.6本だったのがH28年度には1.1本と有病状況が改善し、平成29年７月に全小中学校（政令市である熊本市を除く）でフッ化物洗口の実施率が、目標の100%を達成したと報告された。

次に、玉東町の肥合博子保健師により「フッ化物洗口から始まった玉東町の歯の健康づくり」を演題にライフステージごとの歯科保健事業について、熊本市立城東小学校の桑田奈津子養護教諭から「学校における歯・口の健康づくり～いたわり励ましあい絆の力を育む歯科保健～」を演題に学校全体で進める歯と口の健康づくり、渡辺副会長から「フッ化物の応用と園・学校歯科医のあり方―23年間の取り組みを通して―」を演題に美里町での23年間の取り組みに関しての講演がそれぞれ行われた。昨年は熊本地震の影響で会場が使用できず今年に延期された今大会であったが、大盛況のもと終わることができた。

（髙田　宗秀）

くまモンも登場し大盛況

委員会報告

「口から食べる」ことの重要な意義を確認

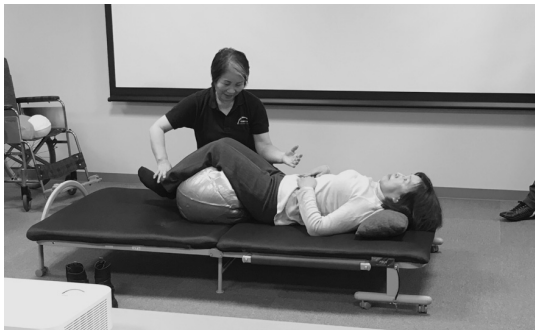
― 第４回他職種でつなげる食支援アドバンスコース ―

センター・介護

11月26日（日）午前10時より県歯会館３階研修室にて、第４回他職種でつなげる食支援アドバンスコースが開催された。

紙屋克子講師は一貫して意識障害患者の看護と実践に取り組まれてきた方で、国際脳神経外科看護学会で意識障害看護に関する最初の論文を発表されている。また日本看護研究学会において意識障害者を『重複生活行動障害者』と看護学的に規定することを提唱された。ＮＨＫスペシャルドキュメンタリーで紹介された看護活動は、医療・看護界のみならず広く一般の人々にも看護の成果と素晴らしさを伝えたことで注目された方で、現在は筑波大学、京都看護大学、静岡県立大学、中華人民共和国新疆医科大学等において数々の要職につかれている。

講義では、「口から食べる」ことは高齢者や患者の生命や生活の質を問う重要な意義があるものであること、食べることを目標に揚げることは座位の確立、視野の拡大、多くの感覚を刺激するなどの生活行動を確立するための基本的な能力を獲得する機会へとつながるという事、そういう意味でも医科・歯科・多職種の連携が大切だという事を確認できた。



実習を交えながらの充実した講演会

講義後半は、患者さんの姿勢の取り方やポジショニング、バランスボールを使った用微振動のリハビリテーション実習等もあり、訪問・介護での臨床の現場で使える知識が多く充実した講習会であった。

（本田　壮一郎）

熊本市歯科医師会

ペリオとインプラントの今を考える

— 学術講演会 —

11月５日（日）午前10時から、県歯会館４階ホールにおいて学術講演会が開催された。今回は今までと違った趣向で、午前と午後の二部に分け、二人の講師に講演をお願いした。

午前は、東京都で開業の歯周病学の第一人者でもある弘岡秀明スウェーデン・デンタルセンター院長に「歯周病患者のインプラント治療」という演題で、午後からは、インプラント学の第一人者である中村社綱インプラントセンター・九州院長に「インプラント治療の理論と実践～低侵襲で長期安定のために～」という演題で講演いただいた。

最初に、宮本会長より開会の挨拶があり、その後、弘岡講師の講演がはじまった。講師は歯科治療先進国であるスウェーデンに留学されており、著名な先生方に歯周病治療を習われていた。その当時のスライドを見せていただいたが、そうそうたるメンバーで圧倒された。実際の臨床では、重度の歯周病患者でも極力抜歯を行わず、初期治療や外科処置を行い必要に応じてはエムドゲインを用いたりして治療を行われるようで引き出しの多さに驚かされた。それだけではなく、歯周補綴にも細心の注意を払われており、クラウンマージンは縁上に設定することが重要であることなどを話された。

インプラント治療も行われており、重度なペリオの患者にもインプラント処置を行っておられ、歯周病を徹底的にコントロールしなければならないことを強調して伝えられた。

最後に、インプラント周囲炎を起こさないためには、周囲の天然歯も同様にコントロールすることの重要性や初期の周囲炎であれば非外科処置でコントロールできることを話されたが、一番重要なことはインプラントを埋入するにあたって、エンド、ペリオ等の病気が無い状態で行うこと大事であることを述べられた。

午後１時より中村講師に講演いただいた。中村講師のインプラント治療におけるターニングポイントとして1986年にスイスでストローマン

ディスカッション形式で質問に答える両講師

インプラント指導者養成コースを受けられたことで近代インプラント治療に取り組む事になられたこと、1990年にはGBRの症例を手がけられて、今日のGBR-NEWテクニックを提案されたこと、2002年モディファイドスカンジナビアブリッジからALL on 4に到る即時荷重法を臨床に定着できたこと、さらに2006年にトップダウンの３Dプランニング、Guide手術、CAD/CAM、補綴と一連のデンタルソリューションの活用を臨床の基盤として実践できたことを詳しく教えていただいた。

中村講師もインプラント周囲炎にはかなり気を使われており、インプラントとペリオはこれから先、特につながりのある治療になってくることを再認識させられる講演となった。

その後、休憩を挟んで、二人の講師にディスカッション形式の質問時間があった。講演内容が難しすぎて質問が少なかったらどうするか学術委員会でも心配していたが、質問時間30分を大きくオーバーして、講演会時間ギリギリまで説明いただいた。

最後に宮本会長より二人の講師に感謝状を渡し、渡辺副会長の閉会の挨拶をもって、講演会が終了した。

今回、日曜日１日を使った講演会は初めてだったが、盛会に終わることができた。参加された方々へ感謝いたしますと共に今後も会員に興味をもっていただける講演会を企画していこうと思う。

（椿　賢）

天草郡市歯科医師会

歯牙に感謝

― 第59回歯牙供養祭 ―

10月28日（土）午後２時より天草市本渡の東光寺にて歯牙供養祭を開催した。20人が出席し、供養祭後の天歯学会の講師としてお招きした東京都で開業されている鷹岡竜一氏にも出席していただいた。

開会の辞の後、森口会長の祭文奏上が行われ、その中で歯牙に対する感謝の念と地域医療への関わりが広がっていく今日の更なる精進の想いを述べられた。住職読経が続く中、会員一人一人が焼香をし、自分なりの思いを込めて合掌した。

（山本　康弘）

厳かな雰囲気の中で行われた

考える歯周治療

― 第54回天草歯科学会 ―

10月28日（土）午後３時より肥後銀行天草支店コミュニティーホールにて天草歯科学会を開催した。今回は東京都で開業の鷹岡竜一鷹岡歯科医院院長に「考える歯周治療」という演題でご講演頂いた。

歯周病は慢性疾患であり、治療においては術者だけではなく、患者さんの自己管理が治療の成否を大きく左右する為に、「歯、口腔内、人」という３つの要素で統合的に治療計画を立案しなければならない。その為には①Ｘ線写真②口腔内写真③プロービングチャートの規格化された臨床記録によって経過を追うことで、その治療法が正しかったのかを判断できるという事であった。実際先生のデンタル写真、口腔内写真は経年毎にほぼ同じ規格で撮られており、とても綺麗で治癒していく様がはっきり解り、非常に感銘を受けた。特に歯肉移植が必要そうな歯肉退縮した症例をブラッシングだけで治した症例は大変感激した。

最後に歯周病の治療には歯科医師と歯科衛生士との情報交換がいかに大事かを強調された。相互がその症例に対して共通認識を持つことで、

歯科医師と歯科衛生士の情報交換が大切

治癒像をイメージでき、医院のシステムが構築され、自信をもって歯周治療に取り組むことができるという事であった。あっという間の３時間近い講演だった。

今回は歯科衛生士も沢山参加し、明日からの臨床に大いに役立つ講演であったと思う。

その後懇親会に会場を移し、美味しいお酒と新鮮な海鮮料理に舌鼓を打ちながら、遅くまで楽しい時間を過ごした。

（山本　康弘）

郡市会報告

天草郡市歯科医師会

天草市で開催

― 城南５郡市連絡協議会 ―

11月25日（土）午後４時より肥後銀行天草支店大会議場にて、城南５郡市連絡協議会が開催された。二年に一度開かれるこの協議会は八代、水俣・芦北郡市、人吉市、球磨郡、天草郡市のそれぞれの役員が参加して行われる。

各郡市、日頃の運営状況での問題点やそれぞれの役職における相互のアドバイスなど県歯での会議とはひと味違う話し合いが行われた。協議題は各郡市より事前に持ち寄られ、

①終身会員、休止会員の定義や会費など、今後の対応
②地域後方支援病院歯科等、公的医療機関の郡市歯科医師会年会費の負担状況、及び会員種別
③各郡市における行政機関、医科医療機関、介護施設との在宅医療への連携、取り組み状況
④「安心安全歯科医院」の登録状況
⑤各郡市の保育園・幼稚園における「フッ素洗口」の実施状況
⑥各郡市役員手当の状況
⑦在宅医療推進の住民へのアピールの仕方

協議題への活発な議論を交わした

などが活発に議論された。日頃の各役職を担う上でのちょっとした疑問や取り組み方などを同じ他郡市の同職の役員から直接聞くことができる大変よい機会となった。

懇親会場へと移動してからも、各々の立場で聞きにくい話なども積極的に話し合われた。

（槌本　亮二郎）

阿蘇郡市歯科医師会

宇佐神宮参拝！　大分づくし

― 親睦旅行 ―

今年も恒例となっている親睦旅行の日がやってきた。11月18日（土）・19日（日）と大分への旅のスタートである。今年の出発は大津駅から阿蘇市そして小国へ、総勢15人を乗せたバスは九重インターから高速へ、途中由布岳、別府湾を眺めながら大分駅前へ、今日の宿泊はＪＲ九州ホテルブラッサム大分である。都市型ホテルでありながら最上階には天然温泉と露天風呂も備えているという、さすが温泉県大分である。しかも11月16日がボージョレヌーボーの解禁日ということでワイン風呂まで用意されていた。夜の宴会まで少し自由時間があったのでお風呂を満喫する人、大分駅アミュプラザでお土産を買う人、散策する人…そして午後６時30分にホテル前に集合！で、大分と言えば…やはり…そう、ふぐである。山田屋都町店に行き、武藤会長の挨拶、甲斐田副会長の乾杯の発声で宴がスタート、てっさ、唐揚げ、ふぐちり、ぞうすい…ひれ酒と共に堪能した。日頃なかなか長時間顔を合わせることがないので話も尽きることなくお酒も入って盛り上がった。最後に片山公則会員の一本締めでお開きとなり二次会に移動、最後には腹が減ったとラーメンで〆る強者もいた。

二日目、朝風呂に入りホテルのラウンジで朝ごはん、９時にホテルを出発、宇佐神宮（全国四万あまりの八幡宮の総本山であり、伊勢神宮につぎ二番目に格式の高い神社だそうである）へ。今年一番の冷え込みだったが寒さに負けじとみんなバスを降りた。宇佐神宮の

うっすら雪化粧した由布岳をバックに

お参りの作法は、二拝・四拍手・一拝で出雲大社とここだけだそうで、みんなこれにならって参拝し一時間ほど散策した。そして、一行は大分自動車道に戻って湯布院へ、寒いはずで、由布岳の山頂はうっすら雪化粧していた。由布院秀峰館に到着し、湯布院牛の陶板焼きを昼食に頂いた。とてもやわらかくておいしいお肉だった。お腹もいっぱいになり、由布岳をバックに集合写真を撮り帰路についた。駆け足の一泊二日だったが、より一層会員相互の親睦が深まった楽しい旅行であった。

（馬谷　真）

荒尾市歯科医師会

過去の貴重な経験を活かす

― 救急救命講習会＆荒尾市総合防災訓練 ―

11月13日（月）午後７時30分より、荒尾消防署にて救急救命講習会が行われた。これは、荒尾市総合防災訓練参加のための事前講習も兼ねてほぼ毎年開催している。

全員が手順を確認

今年も講師には荒尾市民病院の松園幸雅救命科部長をお迎えして、救急救命処置と災害時トリアージに関するご講演頂き、知識を最新のものにした後、消防署員から助言を受けながら救急救命蘇生用のマネキンを使用し、参加者全員が一つ一つの手順を再確認しながら実地訓練を行った。

そして11月19日（日）午前９時より、荒尾市緑ヶ丘小学校での荒尾市総合防災訓練に本会から担当の４人の会員が参加した。

今年は荒尾市内で記録的短時間大雨によって市内で冠水被害が発生したと想定し、各関係団体による土砂撤去・被災家屋からの被災者救助訓練などが行われた。

本会の役割は避難所での長期生活の中での口腔内の健康維持を目的とした歯科検診と保健指導を行ったが、東日本大震災、昨年の熊本地震等の大規模災害を経験し、避難所生活における災害歯科に関する一定の方向性が確立したお陰で、ただ検診するのではなく、誤嚥性肺炎のリスク拡大の問題、長期間避難所生活による栄養の偏り、不規則な甘食摂取による齲蝕の多発の問題、避難装備品の中にデンタルグッズも入れておくことなど、かなり具体的に参加した市民に伝えることができた。

避難所での歯科の大切さ力説中

（坂田　輝之）

上益城郡歯科医師会

爽やかな秋晴れの下、ランニングイベントに参加

― 第５回熊本リレーマラソン ―

11月23日（木）勤労感謝の日に、熊本県民総合運動公園陸上競技場一帯で行われた「第５回熊本リレーマラソン」に上益城郡歯科医師会ランニングチームとして出場した。熊本リレーマラソンとは、１チーム４人～21人のチーム編成で、チームで力を合わせ１周２kmの周回コースを21周＋0.195km、計42.195kmを制限時間内（５時間以内）で走破する大会である。

当郡のチームも当初、十数人のチーム編成で臨む予定であったが、年末のため会員それぞれ忙しく、結局７人でのエントリーとなった。が、当日急遽３人のキャンセルがあり、結局４人での参加で、１人あたり５周（10km）ノルマという過酷な状況での出走となった。不安な中での出走となったが、皆で協力し合い、またチームキャプテンの江藤会員は５周（10km）＋最終周2.195kmを担当し、最後は制限時間５時間をはるかに上回る４時間を切る好走で、最高の秋晴れの下、

４人で４時間を切る好走！

気持ち良い汗を流し、無事完走することが出来た。

リレーマラソンには、１人で走るフルマラソンとはまた違う達成感、充実感があり、その後の反省会のビール、食事が最高だったことは言うまでもない。この「快感」を是非たくさんの会員の方々にも知っていただきたい。

（石井　洋一）

玉名郡市歯科医師会

玉名地域における医科歯科連携への取り組み

― 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（ARONJ）講演会 ―

８月24日（木）午後７時より、司ロイヤルホテルにて、有明地区医科歯科連携講演会が開催された。骨吸収関連薬剤について整形外科と歯科口腔外科の医科歯科両方からの講演であった。

講演１は、公立玉名中央病院の中野哲雄病院長を座長として、鶴上整形外科リウマチ科医院の鶴上浩院長に「骨粗鬆症薬物治療の現状と課題」という演題で講演頂いた。

講演２は、たかさき歯科医院の髙﨑稔院長を座長として、伊東歯科口腔病院の篠原正徳顎顔面再建・再生センター長に「骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（ARONJ）の現状と対策」という演題で講演頂いた。

ビスホスホネート（BP）による難治性の顎骨壊死（BRONJ）に加えて、デノスマブによる顎骨壊死（DRONJ）を包括したARONJという名称が使われるようになってきている。

ARONJの発生に関しては、顎骨は身体の他の骨と比べると、歯が植立していること、口腔内に多数の常在細菌が存在すること、抜歯等の侵襲的歯科治療にて露出し感染を受けやすいなど、きわめて感染しやすい特殊環境下にあるということが深く関与していると考えられる。

ARONJの発生頻度は、経口投与では患者10万人当たり1.04～69人、静注投与では０～90人とされている。日本の調査では2011～2013年で4797例のARONJが報告されている。日本の調査ではARONJ発生の約半数がBP内服薬投与のみにより発生している。

全ての歯科治療は、骨吸収抑制薬治療開始２週間前までに終了することが望ましい。侵襲的歯科治療について、治療前のBP休薬がARONJ発生予防に効果を示すか否かは不明であり、休薬により骨折の発生が増加するとしている。しかしながら、BP治療が４年以上にわたる場合にはARONJ発生率が増加するとのデータがあり、骨折リスクを含めた全身状態が許容すれば２か月前後の休薬について主治医と協議、検討することを提唱している。このように侵襲的歯科治療前の休薬の可否に関しては統一した見解は得られていない。

したがって歯科治療は基本的にBPは休薬せずに侵襲的治療をできるだけ避けるが、抜歯などが避けられない場合は術前から抗菌剤を投与し、侵襲の程度、範囲を可及的に抑え、処置後に残存する骨の鋭端は平滑にし、術創は骨膜を含む口腔粘膜で閉鎖する。重度の歯科侵襲治療が予想される場合は、休薬について主治医と協議、検討する必要がある。

ARONJ発生の予防には、医師と歯科医師の緊密な連携こそが最も重要であり、医師と歯科医師の密接な協力関係の構築が強く望まれる。

玉名郡市歯科医師会では、中野病院長、鶴上院長の提案と監修で、ARONJ発生予防医科歯科連携のための情報提供文書の作成を行った。臨床現場に即した迅速な対応が可能なように記載項目を絞り、必要な情報をやり取りできるようにしている。今後、次ページにあるような書式による情報提供文書を使用して緊密な医療環境の整備を進めていきたいと考えている。

なお、この医科歯科連携用紙は医科の方でも広報を行い、印刷した物を各施設に配布する。希望者にはWordもしくはPDFファイルを送る。玉名郡市医師会、公立玉名中央病院、玉名地域保健医療センターなどのHPからダウンロード出来る様にする。など活用できるように考えているそうです。

※会員の方で連携用紙が欲しい方は、たかさき歯科医院（0968-78-4181）へ連絡ください。

医科歯科連携用紙
①歯科→医科　BP製剤休薬の可否（紹介用）
②歯科→医科　歯科治療必要の有無（返信用）
③A　医科→歯科　BP製剤服薬前の歯科検診受診（紹介用）
④B　医科→歯科　BP製剤休薬の可否（返信用）

（髙﨑 稔）

医科歯科連携用紙

①歯科→医科
BP製剤休薬の可否（紹介用）

診療情報提供書（医科歯科連携）

平成　年　月　日

紹介先：
先生

紹介元：
歯科医師：　印
電話：　FAX：

フリガナ		性別	□男　□女
患者氏名			
患者住所 電話番号	〒 TEL：　（　）		
生年月日	□明□大□昭□平　年　月　日（　歳）		

診断名	□う蝕歯　□歯周病　□その他（　）

上記患者様に対して、下記の歯科治療を実施予定です。

□　抜歯

□　その他（　）

なお、治療期間は下記を予定しております。

□なるべく早急に　□歯科治療に猶予があります。

【　年　月頃より　ヶ月間の予定】

骨吸収抑制剤（ビスホスホネート製剤、デノスマブ）による治療を受けておられる患者様ですが、ARONJ(骨吸収抑制剤関連顎骨壊死)予防のため休薬後に歯科治療を行いたいところですが可能でしょうか。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

（備考）

②歯科→医科
歯科治療必要の有無（返信用）

診療情報提供書（医科歯科連携）

平成　年　月　日

紹介先：
先生

紹介元：
歯科医師：　印
電話：　FAX：

フリガナ		性別	□男　□女
患者氏名			
生年月日	□明　□大　□昭　□平　年　月　日（　歳）		
住　所	TEL：　（　）－（　）－（　）		

□　年　月　日に、以下の歯科治療を実施・終了しました。

□　年　月　日～　年　月　日に以下の歯科治療を実施予定です。

【内容】

□　抜　歯　　□　歯周病治療

□　義歯治療　　□　その他（　）

□上記歯科治療に際し、骨吸収抑制剤関連顎骨骨髄炎のリスクに対するインフォームドコンセントを実施しました。

（備考）

現在、骨吸収抑制剤関連顎骨骨髄炎の発現はみられていません。今後の骨髄炎および骨折リスクの双方をご評価いただき、必要に応じて骨粗鬆症の治療のご検討をお願いします。また、定期的な口腔ケアのための受診もお願いいたします。

③A　医科→歯科
BP製剤服薬前の歯科検診受診（紹介用）

診療情報提供書（医科歯科連携）

平成　年　月　日

紹介先：
先生

紹介元：
医師氏名：　印
TEL：　FAX：

フリガナ		性別	□男　□女
患者氏名			
生年月日	□明　□大　□昭　□平　年　月　日（　歳）		
住　所	TEL：　（　）		

骨粗鬆症・がんの骨転移のため、薬剤　　を

1.　処方する予定です。

2.　　年　　月頃より処方しております。

つきましては顎骨骨髄炎予防のため顎口腔領域について評価いただき、定期的な口腔ケアならびに必要に応じて歯科治療をお願いします。

なお、本症例は

□骨吸収抑制剤投与に猶予があります。

本剤投与の開始を遅らせた方が良い場合または休薬が必要な場合は、その時期・期間等についてご相談ください。

□骨吸収抑制剤投与が（早急に必要・休薬不可）です。

原疾患の状況から本剤投与を優先させたいと思いますのでご配慮をお願いします。

④B　医科→歯科
BP製剤休薬の可否（返信用）

診療情報提供書（医科歯科連携）

平成　年　月　日

紹介先：
先生

紹介元：
医師氏名：　印
電話：　FAX：

フリガナ		性別	□男　□女
患者氏名			
生年月日	□明　□大　□昭　□平　年　月　日（　歳）		
住　所	TEL：　（　）		

診断名	□骨粗鬆症　□その他（　）

薬　剤　　を　　年　　月　頃より処方しております

□骨吸収抑制剤の休薬は可能です。

本剤の休薬は、　【時期】　□本日より　□　月　日より

【期間】　□　ヶ月間　□　歯科治療終了時まで

□骨吸収抑制剤の休薬は不可です。

原疾患の状態から本剤の投与を優先させたいと思いますのでご配慮をお願いします。なお、ARONJ についても説明いたしました。

侵襲的歯科処置が終了しましたら、骨吸収抑制剤の使用を再開予定ですので、治療終了時はご連絡いただきますようお願いいたします。

（備考）

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があること
⑥健康のために留意していること

健康に感謝

①永田　勝
②大正11年５月25日
③健康に留意して、毎日を過ごしていく。
④天皇陛下の御退位。
⑤ひ孫の顔を見る事。
⑥毎日歩く事、おいしく食事をする事。

目指せ72!!

①若槻　正幸
②昭和21年１月９日
③去年久々の70台、今年は目指すぞ72（パープレイ）!!
④高齢者の操作ミス、走行ミスによる事故、身につまされます。
⑤これも去年ですが、スマホデビューしました。でも操作はガラケー並。活用範囲を広げる努力中。
⑥何もしていません。毎日飲む薬の種類が増えています。

意識を進化させる

①杉尾　健一郎
②昭和21年４月３日
③健康の維持と更なる意識の進化。
④AIが囲碁の世界で人間を越えたこと。
⑤見えない世界の探求と意識の進化。
⑥週３回以上のウォーキング。

走道一路　365日ラン

①奥田　良樹
②昭和21年６月21日
③昨年同様、早寝（21：30就寝）、早起（３：30起床）、早朝般若心経を唱えながら７㎞の超スロージョブ、週４or５日のスイム1,000m、週３日の禁酒（月・火・水曜）、金曜は男の料理、月40Ｇのボウリングを75才まで続け、その後はカミさんと離島・温泉めぐり、再度のお遍路。生き生きと日常を過ごしラストはコロリ…と!?
④政治家の私利私欲、党利党略ばかりにウンザリ。熊本地震でグループ補助金が3/4出ることになり煩雑な事務手続き（しかも平日）を１年以上行なってきたが実際は1/4がやっと…。慶事は長男の結婚。昨年も仕事、体調にトラブル無く健康に過ごせたこと。
⑤６年前、熊歯ボウリング部入会。その間試行錯誤しながら月40ゲーム程投げ込んできたが低迷…。昨年10月独自のフォーム改造…名づけて「奥田スペシャルバンザイショット」。あと１年かけてなんとか完成させアベ200を達成したい！（現在BS223）。他方で仕事はいつ止めるか終活はどうするかを具体的に検討中。
⑥早寝・早起で徹底して運動と食事（粗食・少食）、酒の管理、月200km以上の走り込み、月15km以上のスイム、月40ゲーム以上のボウリング、週３日の禁酒、腹筋・背筋各200回、休日は友人が無農薬を行っている農作業の手伝。

変わりないことの有り難さ

①吉永　誠一郎
②昭和21年７月27日
③自宅の復興。
④トランプ大統領。アメリカファーストで世界の国々は離れていき、今後中国へ乗り換わっていく。数十年後に中国がファーストに。日本は３位から５～６番へ。今後東南アジアがかなり発展し、日本は益々順位を下げていく。
⑤日本の技術立国は1990年で終りそれ以降は平和ボケ、人口減少で益々経済衰退、今後人口を補うため外国人を多く入れアメリカのようになる。そして民族、宗教等で問題が多く発生。20年以上も前からわかっていたのになぜ政治家は早く手を打たなかったんでしょうね。
⑥何もなし、自然にまかせる。

熊本の復興

①杉野　泰彦
②昭和21年８月19日
③年相応の自然体で!!
④アメリカの大統領がクリントン・ブッシュ・トランプと我々と同じ1946年生まれであること。
⑤今のIT社会の正の部分と負の部分のバランスがIT以前の時代と比べてどう変ったか。
⑥体に良い食べ物を取る事。

６回目の年男!!

①伊東　隆三
②昭和21年12月４日
③歯科を主体とした口腔病院のさらなる進化と歯科と医科との協働連携。
④トランプの出現とポスト・トルース、オルターナティブ・ファクトの蔓延。
⑤いかに我々の思想を次代に繋げるか。
⑥早寝・早起、早朝ウォーキング、剣道の稽古再開。

60才からの自分

①小柳　一哉
②昭和33年１月２日
③還暦を迎え、さらに体力増強。
④スウェーデンに行けた事。
⑤ゴルフがうまくなれるよう。
⑥食事療法、定期検診。

初寿

①光永　昭宏
②昭和33年１月３日
③BMI25達成
④トランプ、入会、準JIS。
⑤別の見方に気づき行動を変えてみること。
⑥文句を言わず出された食事をたいらげる。

一隅を照らす

①西野　隆一
②昭和33年１月５日
③今与えられている仕事を精一杯努めたいと思います。
④熊本地震で被災した医院の建物と設備の修理が終了した。（安堵）
父が、硬膜下結膜で緊急手術になったが、無事退院し、元気で暮らしていること。（感謝）
⑤50年、100年後の日本と世界。とても心配です。
⑥できるだけ歩いて通勤しています。目標は、１ヶ月150km。

第２の人生設計

①吉永　修
②昭和33年２月４日
③歯科医療従事者の労働環境改善。
④親子４人でいっしょに働いていること（長男・長女：歯科医、妻：経理）
⑤勤務医、DHの求人。
⑥いやなことはしない。デトックス。

今できることを頑張る

①高橋　裕輔
②昭和33年２月８日
③日本の近代史を学び、それに関する地域や建物を見て回りたい。
④悲惨で残虐な事件が多かった。
⑤FXや株。
⑥ストレスを溜めないように。深酒しないように。軽い運動をする。（今年の目標でもある）

歯科医としてのゴールも…

①寺本　豊徳
②昭和33年３月15日
③歯科医としてのゴールもぼんやりと見えてきたように思います。辿り着いた時に後悔することのないように、マイペースで、そこに向かって歩みを進めていけたらと思っています。
④地球の異変、そして北朝鮮の暴走。
⑤歯科の来し方、そしてゆく末。
⑥週末には、実家のそばの江津湖畔をウォーキングしています。幼い頃から慣れ親しんだ風景ですが、時代が移り変わっても、昔のままの自然が残っているのを見るとホッとします。

離れていて淋しいと思う人

①竹田津　秀
②昭和33年３月24日
③幸せに暮らそう。
④離婚をして７年目の６月に素敵な方と出会うことができ、毎週の様に週末を楽しんでおり、この歳でこの様な想いができる事に幸せを感じております。
⑤就職して働いている二人の息子の事。
⑥毎日の食生活と適切な運動に心がけております。

歯科医師としてさらなるスキルアップを図る

①小田　哲也
②昭和33年４月22日
③講習会等に積極的に参加する。
④天災が起きる度、人間の無力さを感じる。
⑤歯科医療に関するスキル及びツールの進歩。
⑥ウォーキング、ランニング、野菜中心の食事。

もう還暦だよ！

①菊川　明彦
②昭和33年７月３日
③初孫が産まれる予定。ささやかな幸せを目標に目の前の仕事に頑張っていきたい。
④「このハゲーッ」「違うだろっー」。個人的には愛媛県大洲市長浜を走っている時、「がんばろう熊本」と書かれたタスキをかけた自由の女神像を見つけた時。全国からの応援を感じて、感激しました。
⑤ブログでホームページを持っているので、少しずつ埋めていくこと。あと趣味の料理で、家族にいかに「うまい」と言わせるか。
⑥糖質制限。内科ではもはや常識の様ですよ。

還暦を迎えるにあたり

①御手洗　肇
②昭和33年７月12日
③今年は、一歩一歩をゆっくりと根をしっかり張った年でありたい。感謝でいっぱいの年でありたい。
④今年も世界中で戦争が起ったり、起ころうとしていること。
⑤時代の流れに乗り遅れないように向上心をもって生きていくこと。
⑥明るい未来を考えて生きること。

日々是感謝

①福田　忠彰
②昭和33年８月20日
③患者さんを大切に、健康に留意し、何事にも感謝の念を持って臨む。
④高齢者のより高齢化が進んでいく社会への突入。結婚10年目で授かった長男の大学進学。
⑤仕事：歯周病と全身疾患、ブラキシズム。趣味：50才で始めたRC飛行機の技能向上。
⑥１日15分の筋トレ、１週間に２回のウォーキング、１ヶ月に１～２回のお酒、１年を通してBMI25未満の維持。

全てに感謝。ただただ有難い。

①黒仁田　典之
②昭和33年９月23日
③健康に留意し、今を一生懸命に生きる。（気持ちは永遠の20歳!!）
④いざなぎ景気超えの経済（実感はありませんが…）。
⑤再生医療。
⑥ウォーキングでメタボから脱却しようと頑張っています。

目薬を大量注入して…

①規工川　浩
②昭和33年10月８日
③このところ、肉体的に、そして精神的にも社会的にも視野が狭くなったような気がします。目薬を大量に注入して、視野を広げたい。
④幼少より庇護を受けた父との別れ。
⑤パラは高騰しているのに、補管はあまり変わらない。
⑥妻を大切にする事が健康の秘訣かも。

挑戦

①伊藤　明彦
②昭和33年12月４日
③何事にも挑戦。
④ニューヨークの学会に妻と一緒に参加して、ミュージカルを観賞できたこと。
⑤地域の在宅歯科をいかに進めていくか。時間をつくって妻と旅すること。
⑥できるだけ歩くようにしていますが、運動不足です。

健康第一

①野上　研二
②昭和33年12月10日
③健康第一。
④今だに、一昨年の震災が記憶に強く残ってます。
⑤老後の生活が、少し気になります。
⑥飲酒を控える。

自分の部屋がほしい！

①太田　文隆
②昭和45年１月12日
③鋼の肉体を作る。
④政治の茶番劇。
⑤子供の進路。
⑥できるだけ毎日汗をかく。

還暦まであと１クール!!

①清藤　寿晃
②昭和45年３月24日
③「日日是好日」今を大事に未来に希望を考えて過ごすこと。
④自然災害（台風、豪雨、地震）よる被害の拡大。アジアにおける有事の可能性。
⑤安定的な医院経営。歯科用金属の高騰。
⑥ほどほどのお酒と良質な睡眠でストレスを溜めこまないこと。

焦らず一歩ずつ

①宮﨑　修一
②昭和45年７月10日
③多忙であっても心穏やかに平常心で乗り越える。
④国としての近所付合い。
身近なところでは外国人観光客の行動とそれに対する対応。
⑤鼻呼吸、おにぽかん。
⑥適度な運動、適度な睡眠、楽しい食事。

恩を大切に

①田中　俊憲
②昭和45年９月25日
③これまで私が受けてきた恩をいかに社会に還元していくか。色々な方からの御指導があり、今の自分があると思うので、それを次の世代に伝えていきたい。
④北朝鮮のミサイル発射。これから日本はどうなるのか？
将棋・藤井四段の29連勝。若い力ってすばらしい！
⑤子どもの成長。
⑥週に２～３回ジムに行って、汗をかくようにしてます。

36歳になって

①福田　勇人
②昭和57年１月22日
③毎年目標に掲げては自分への甘さで達成できなかった運動不足の解消を今年こそは頑張りたいと思います。
④妻の実家が九州北部豪雨で大きな被害があった朝倉に近かったのもあり、昨年の熊本地震に続き、自然災害の恐ろしさが印象に残りました。
⑤２歳になる娘の成長。
⑥朝ごはんを出来るだけ食べる。

2018年に向けて

①今泉　亮
②昭和57年８月24日
③2018年は気持を落ちつけて、歯科医療だけでなく、熊本県内の観光名所等、熊本県の事をより深く知っていきたい。
④熊本県への移住。
⑤熊本県内の名所、家電。
⑥偏食を避ける。

飛躍の年にする

①山本　康弘
②昭和57年10月２日
③2017年末に院内改装を行い、親より理事長を引き継ぎ、身の引き締まる思いです。
今年はとにかく診療に経営にがむしゃらにがんばっていこうと思います。
④ソフトバンクホークス日本一。
⑤訪問診療。
⑥あまり食べ過ぎないよう努力していきたいです。

一日一生

①黒岩　寛士
②昭和57年11月30日
③一日一日を大切にする。
④北朝鮮問題。
⑤歯みがきが大嫌いな娘の成長（２才）。
⑥自転車通勤・徒歩通勤。

リレー投稿 13

『今年も良い年でありますように。』

熊本市　甲斐田　光

『今年も良い年でありますように。』

毎年元旦に初詣にいくのだが、大学生になった年からずっと同じ、この願い事だけをしている。今年で40歳になるので、もう22年間、人生の半分以上続けていることになる。神様を信じているわけではないし、これで良いことが起こるとも思ってはいないのに不思議なものだ。

小学生の頃の願い事は物欲に関わるものが多く、たくさん願い事をしていたと思う。中学生・高校生の頃は『歯医者さんになれますように』や『大学に受かりますように』と願い事をしていた。願いは叶い、歯学部に入学、歯科医師になる道が開け、大学生活もそれなりに充実し、楽しんでいた。そこで、この状態が続けばいいなと思い、その年に『今年も良い年でありますように。』と願い事をしたのが最初だ。その後、良い年もあれば、悪い年もあったが、同じ願い事だけをしている。一度歯科医師国家試験を受ける年だけは『歯科医師国家試験に受かりますように』と追加の願い事をしようと思ったが、悩んだ末に我慢して『今年も良い年でありますように』とだけお願いした。今思えばそんなに悩むことでもないのだが、そのころには僕の中で、幸運を維持するジンクスみたいになっていたのかもしれない。

この願い事をするうえで大事なのは『今年は』としないことだと思っている。どんなに前年が悪い年でも『今年も』とお願いする。

加藤神社

『今年は』とすると前年が悪い年であったことを認めることになってしまうし、悪いことは悪いことを引き寄せる気がするからだ。『今年も』と願い事をすることで、悪かった前年のイメージを打ち消し、引きずらないようにしている。そのため、いろいろな思いや雑念などが入らないよう、何も考えず、願い事をする時間も２、３秒で『今年も良い年でありますように』と１度唱えて終わるようにしている。

初詣は家族そろっていくのだが、子供をみていると面白い。10歳（長女）と８歳（長男）がいるのだが、２人とも叶えたい事が多いようで、結構長く、必死に願い事をしている。長女にいたっては平成29年の初詣で１分15秒ほどがんばっていた。何を願っているのかは教えてもらえないが、かえるの子はかえるだ。たぶん僕が小学生の頃にお願いしていたこととあまり変わらないだろう。１つでも多く叶えばいいねと思うが、願い事の前に、鳥居のくぐりかたや手水での手や口の清め方、２礼、２拍手、１礼などの作法をしっかりしないと、願い事だけがんばっても聞いてもらえないのでは？と思ったりもしている。

今年もまだ始まったばかり。歯科医院を開業して３年８ヵ月経過したが、こちらも始まったばかり。これからも色々とあると思うが、ぼちぼちやっていきたい。最後に自分を含め熊本県歯科医師会に所属する先生方、歯科界に関係する全ての方々のご健勝、ご多幸を祈念して締めたいと思う。

『今年も良い年でありますように。』

次回は、熊本市歯科医師会IT化検討委員会でお世話になっている鈴木憲久会員にリレーします。

団体戦Ａチーム２年ぶり優勝、女子個人でも優勝、準優勝!!

― 九州歯科医学大会剣道大会 ―

剣道部報告

10月15日（日）に毎年恒例となっている九州歯科医学大会剣道大会が、別府市の別府大学剣道場にて開催された。今年は、予選突破できなかった去年の雪辱を晴らすべく、皆かなり気合いが入っている！中嶋選手の後輩が別府で剣道の指導をしていることもあって、大会前日に試合会場で稽古ができ、翌日の試合に向けて良い準備ができた。

今年は大会初の試みとして、女子個人戦がエキシビションで行われた。本県からは、今年から部に加入した新人２人（溝口選手と長田選手）と去年功労賞を受賞した澤木選手が出場した。この２人の新人、学生時代に全日本歯科学生総合体育大会剣道大会（通称デンタル）にて、女子個人決勝戦で優勝を争うという、とんでもない経歴を持っている。その二人がエキシビション１回戦でいきなり対戦することとなった。結果は、延長戦の末、辛くも溝口選手の１本勝ち！そのままの勢いで溝口選手の優勝となった！（本大会の女子個人戦は、総当たり戦＋澤木選手と対戦という少し特殊なものであった。）惜しくも準優勝となった長田選手。来年に期待したい！

団体戦は例年通り、Ａパート・Ｂパートに分かれてのリンク戦となった。今年は各県合計で10チーム出場したが、まず５チームずつ２つのリンクに分かれる。５角形のリンクにそれぞれのチームが配置され、隣同士に並んだチームと戦うというシステムだ。各リンクの上位２チームが決勝トーナメントに出場できる。総当たり戦ではないため、隣に強いチームが並ぶと勝ち星をあげにくく、予選突破しにくい。そんな中、熊本Ａチームは去年優勝した福岡Ｂチームと初戦で対戦することになってしまった。優勝を目指す熊本Ａチームにとって、これは運が悪いのか!?いや、そんなことはない！初戦で勝利し勢いがつけば、そのまま優勝できるという確信があった！果たして

優勝旗のもと早くも来年への２連覇を誓う部員一同

結果は!?接戦の末の勝利！これで勢いがついた！今年はイケる!!というムードがチーム内に漂う。２回戦目は、過去９年で２回優勝している宮崎県。宮崎もなかなかの強豪だ。しかし、勢いは熊本にあった！順調に勝ち星をあげ、熊本ＡチームはＡリンク１位突破となった。熊本Ｂチームはというと、健闘むなしく残念ながら予選突破とはならなかった。

さあ、決勝トーナメント！トーナメント１回戦は、去年の予選会で代表戦までもつれ込み、惜敗を喫した宿敵佐賀県であった。しかーし、去年優勝の福岡Ｂチームに予選で勝利していた熊本Ａチームは勢いが違った。終わってみれば、先鋒から大将まで５人全員の勝利という圧勝に終わった。いよいよ決勝戦！相手は鹿児島県。まず、先鋒の私が面一本を先取し辛くも勝利。次鋒・三森選手も流れを次いで、小手を決めて勝利した。これで２勝！団体戦は５人で戦うため、３勝すればその時点で勝利だ。中堅の中井選手、引き小手を決めて、勝負を決めにかかる！ところが、さすがに決勝戦まで勝ち上がってきた鹿児島チーム。簡単には勝たせてくれず、粘って胴を決め返す！これで２勝１引き分け。残りは副将、大将の２名。つまり、副将の太田選手が引き分け以上でＡチームの優勝が決まる。応援の先生方にもチーム内にも安堵の雰囲気が漂った。試合巧者の太田選手ならここで決めると。

優勝・準優勝の若き女性剣士！

す・る・と、一瞬、試合場が凍り付く。『うっそ～ん？』まさかの胴を決められ一本負け。これで２勝１敗１引き分け。中嶋選手の大将戦に勝負を委ねる粋な演出だ。万が一、大将が負けるようなことがあれば、代表戦にもつれ込む。脳裏に去年の悪夢がよぎった。全選手は勿論、応援の方々も固唾を飲んで試合の行方を見守る。緊迫した、いい試合だ。

『オメェェェーーーーンッッ!!!』

会場中に中嶋選手の声が轟く！

『面ありぃ!!』審判が一本の合図を告げた！

さらにもう一本面を決めて、２本勝ちにて２年ぶりの団体優勝をもぎとった！。

個人戦結果は、中嶋隆志選手、太田文隆選手がともに３位、女子個人戦で溝口千乃選手が優勝、長田明子選手が準優勝であった。

個人的には、団体優勝して嬉しいという気持ちもあるが、まず『ホッ』としたのが正直なところだった。応援に来てくださった先生方、本当にありがとうございました。来年も良い結果をご報告できるよう、頑張ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

（上村 裕希）

２人チーム戦で優勝と３位！

― 九州歯科医学大会ボウリング大会 ―

ボウリング部報告

10月15日（日）、大分県OBSボウル・アケノにて88人の参加の下開催された。

今年こそ結果を残すと気合を入れ大会に望む熊本県からは、奥田、井尾、菊竹、宮井、秋山、伊藤の６会員が参加した。

奥様と共に早朝から10数ゲーム一気に投げ込むマラソン的練習法で元気いっぱいの奥田会員。大会直前練習で通算10回目のパーフェクトゲーム（300点）を出し絶好調の井尾会員。体調もほぼ回復し、以前の投球感を取り戻してきたボウリング部部長の菊竹会員。大会直前に急病、入院、手術と出場も危ぶまれたが食欲旺盛の宮井会員。ゴルフの面白さがぶり返しボウリング熱がやや冷める中、週に３回の練習は欠かさない秋山会員。プライベートで充実した時期を迎え、幸せの予感が漂う伊藤会員。

病み上がりとは思えぬ宮井会員の投球

各自練習を重ね、熊歯ボウリング部として最重要視している本大会がスタートした。個人戦、２人チーム戦、４人チーム戦を各３ゲームずつ、計９ゲーム投球し順位が決定する。

顔を合わせることが多い近県の先生や１年ぶりに会う他県の先生方と親睦を深め、以前

表彰台で笑顔の４人

は遠慮がちだった熊本県メンバーも大会経験を重ねるたび知り合いも増え、和気藹々のうちに大会は進行した。

今年は日頃の練習量だけではなく、過去の実績と経験が大会当日に見事発揮された結果となった。

２人チーム戦

優勝　宮井・伊藤チーム

宮井	258	223	203	T	684ピン
伊藤	208	256	215	T	679ピン

３位　井尾・秋山チーム（２年連続）

井尾	234	206	213	T	653ピン
秋山	211	226	228	T	665ピン

個人総合

７位　井尾会員

特別表彰

奥田会員

この結果を踏まえ部員一同またしっかりと練習に励み、来シーズンへ望みたいと思う。４人チーム戦の優勝旗に名前を刻むまでは。

会場まで観戦、激励に来ていただいた執行部役員の先生方、事務局の皆様、雨天中止で駆けつけていただいた熊歯野球部の数人の先生方、応援ありがとうございました。

（菊竹 茂人・秋山 清）

囲碁部報告

九州歯科医学大会囲碁大会

Ａ組

優勝　杉尾健一郎　六段（熊本県）

Ｂ組

優勝　伊藤　俊一　四段（熊本県）

ゴルフ部報告

九州歯科医学大会ゴルフ大会

個人の部

９位　西野　隆一（熊本県）

気まぐれに復活
グルメハンター

創業120余年の秘伝の味を！

―うなぎ・日本料理 とくなが―

中の瀬本店 ☎ 096-237-0011

営業時間／11：00～15：00・17：00～21：00
店休日／水曜日

近見店 ☎ 096-326-0055

営業時間／11：00～21：00
店休日／木曜日

うなぎと言えば、嘉島町の加勢川沿いに構える創業120余年の「うなぎ・日本料理とくなが中の瀬本店」があり先日食べに行ってきました。

明治23年の創業以来、変わらぬ技術と素材へのこだわりで、日々精進されているそうです。日本庭園を望むお部屋もあり、和の風情とうなぎ料理・会席料理も楽しむことができます。代々引き継がれてきた秘伝のたれで、表面は香ばしくパリッと、中はふっくら柔らかく仕上げたうなぎです。

平成28年の熊本地震の影響を受けて一時休業しておりました中の瀬本店が平成29年７月にリニューアルOPENしています。落ち着いたモダンな空間でこだわりの味はいかがでしょうか！

新樹会報告　24回目となる 年に１度のイベント

― 歯の健康ランド ―

11月５日（日）午前10時から熊本県若手歯科医師新樹会によるイベント「第24回歯の健康ランド」が、熊本市動植物園にて開催された。

当日は午前８時30分に動物園入口に集合し準備を行い、午前10時にイベントがスタートした。子連れの来場者が多く賑わった。またスタンプラリーでは、歯科相談、ブラッシング指導、フッ素洗口体験コーナーの３コーナーでスタンプを押してもらい、１つでもスタンプがあれば、オーラルケアグッズおよびおもちゃ（KAWARYOU九州提供）がもらえる事としていた。ある小学生の男の子は、３個ともスタンプが欲しくて、むし歯がないにも関わらず、全部顔を出し場を和ませてくれた。

多くの参加者でにぎわった

イベントの内容
　オーラルスクエア
　　・歯科相談コーナー
　　・ブラッシング指導コーナー
　　・フッ素洗口体験コーナー

また、恒例のステージイベントでは、学生によるブラッシング指導の演劇、三笘貴司会員とラビッツのオーラルケアクイズ、そしてサンスターによる劇（ミッフィーと歌おう）とゲームが行われた。

午前と午後に２回のステージイベントも好天に恵まれ大いに盛り上がった。そして、午後４時にイベントの終了となり、約600人の参加者があり賑わった。

去年は熊本地震の影響で動植物園も閉鎖され中止になったが、今年は動植物園部分開園の中たくさんの方のご支援をいただいて無事終了することができた。

最後になりましたが、イベント開催にご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

毎年恒例のステージイベント

ステージイベント（１日２回　各60分）
　・ブラッシング指導劇（中島学園生徒）
　・オーラルケアクイズ（新樹会）
　・オーラルケア劇「ミッフィーと歌おう」（サンスター）
　・みんなでポン！（ゲーム）（サンスター）

（片山 泰紀）

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

澤田　　稔 先生
平成29年11月26日　ご逝去　88歳

- 郡　市　名：八代
- 入会年月日：昭和26年７月14日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

松田　充博
（マツダ　ミツヒロ）

熊本市西区田崎町380
　　イオンタウン田崎２Ｆ

まつだ矯正歯科

①矯正医の立場からみた予防歯科。一般歯科の先生からも学ばせて頂き、見識を深めたいと存じます。
②矯正治療はきれいになるためだけのものではないですが、きれいになることが患者にとってはとても大切です。治療を通して患者のこころに影響が与えられるよう心がけています。
③厳しい技術認定に裏付けされた認定専門医の試験に合格し、一定の質を担保された治療を提供できます。
④会務などでできる限りお役に立てればと存じます。

第３種会員

渡邊　裕平
（ワタナベ　ユウヘイ）

宇城市松橋町浦川内824-8

吉永歯科医院

牛島　瑛久
（ウシジマ　アキヒサ）

宇城市松橋町浦川内824-8

吉永歯科医院

会　務　報　告

自　平成29年10月23日
至　平成29年11月16日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	10月23日	労務管理打合せ	牛島専務理事、八木常務理事
		第２回県保健医療推進協議会	浦田会長
	25日	県体協第１回強化専門委員会・第２回スポーツ医科学専門委員会合同会 （水前寺共済会館グレーシア）	渡辺副会長
		第６回理事会 【承認事項】（１）新入会員の承認 （２）熊本県警察歯科医会理事並びに第17回警察歯科医会全国大会実行委員会委員のメンバー追加 （３）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼　ほか 【議　　題】（１）一般社団法人熊本県歯科医師会役員等選挙規則の一部改正（案） （２）一般社団法人熊本県歯科医師会予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正（案） （３）熊本県歯科医師会、宮崎県歯科医師会、鹿児島県歯科医師会災害時相互応援に関する協定書　ほか	浦田会長他大林理事を除く全役員
	27日	警察歯科医会全国大会会場打合せ（ホテル日航熊本） （１）会場確認（２）大会スケジュール	小島・渡辺副会長、牛島専務理事、宮井・宇治理事
	28日	第１回各郡市会長・専務理事連絡会議 （１）地域医療構想調整会議（２）第７次熊本県保健医療計画 （３）財務検討臨時委員会の検討事項	浦田会長他常務理事以上全役員、松本・宇治理事
	29日	月次監査 （１）９月末会計現況監査	中嶋・西野監事
	11月１日	熊本地裁・簡易裁判所調停委員ケース研究会（熊本地方裁判所）	前野会員
		第９回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）第11回熊本県医療・保健・福祉連携学会の賛助金 （３）平成30年度総務の事業計画（案）　ほか	浦田会長他椿常務理事を除く常務理事以上全役員
	２日	九州厚生局長新任挨拶の為来館	浦田会長
		第１回県医療審議会医療法人部会（県庁）	浦田会長
	４日	第43回九州各県事務職員研修会（１日目）（佐賀県歯会館）	澤田事務局長他４名
	５日	第43回九州各県事務職員研修会（２日目）（佐賀県歯会館）	澤田事務局長他４名
	７日	各委員会概算要求協議（厚生・医療管理、学校歯科、広報）	渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、宮井・大林・竹下理事
	８日	第793回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
		第２回県災害医療提供体制検討委員会（県庁）	牛島専務理事
	９日	各委員会概算要求協議 （総務・医療連携、学術、社会保険、医療対策、センター・介護、地域保健）	小島・伊藤副会長、牛島専務理事、田上・八木・椿常務理事、宇治・井上・田中・永松・松本・赤尾理事
	10日	第38回全国歯科保健大会会長招宴（富山市）	浦田会長
	11日	第38回全国歯科保健大会（富山県民会館）	浦田会長
		県歯野球部納会（熊本市）	小島副会長
	12日	地域の口腔がんを考えるシンポジウム	牛島専務理事
	13日	第10回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）平成30年度総務の事業計画（案） （３）平成30年度各委員会事業計画並びに予算（案）　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	14日	香川県丸亀市歯会災害対策研修会（オークラホテル丸亀）	牛島専務理事
		中小企業グループ補助金事業実績報告書に係る説明会 （１）事業実績報告書の提出に関する説明 参加者：８名	宮井理事
	15日	都道府県専務理事連絡協議会（日歯会館）	牛島専務理事
	16日	平成29年度九州調停委員大会（県立劇場）	前野会員
学　術	10月29日	㈱モリタ共催学術講演会 受講者：104名 演題：「超高齢社会！患者も納得自費義歯治療のノウハウ」 講師：天井久代デンタルクリニック（東京都開業）天井久代院長	牛島専務理事、椿常務理事、井上理事、馬場委員長他３委員
社会保険	11月１日	第２回日歯社会保険委員会（日歯会館）	椿常務理事
	６日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：１名	田中理事
	13日	社会保険個別相談会（宇城市） 相談者：１名	野田副委員長
	16日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	渡辺・小林委員

所管	日付	摘要	出務者
地域保健	10月23日	第２回笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ （１）笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベントの実施	渡辺副会長、竹下・赤尾理事
	26日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（球磨酪農農業協同組合） 受診者：40名	歯科衛生士４名
	11月１日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（株式会社ナカハラ） 受診者：５名	歯科衛生士２名
		協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（株式会社友和会） 受診者：10名	歯科衛生士２名
	５日	笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント（熊本市・上通ぴぷれす広場 来場者：1101名	渡辺副会長、竹下・宮井・赤尾理事他８委員
	９日	第１回県歯科保健推進会議（ホテル熊本テルサ）	田上常務理事
	16日	いきいき健康長寿講演会（五木村） （１）高齢者の歯と口の健康に関する講演	向江会員
広　　報	11月９日	広報小委員会 （１）会報12月号編集・第１校校正	竹下理事、永廣委員長他３委員
学校歯科	10月25日	第９回日学歯理事会（青森県）	大林理事
	26日	第81回全国学校歯科保健研究大会（第１日目）（青森市文化会館）	浦田会長、大林理事
	27日	第81回全国学校歯科保健研究大会（第２日目）（青森市文化会館）	大林理事
	11月15日	第10回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
	16日	第67回全国学校保健・安全研究大会（第１日目）（三重県総合文化センター）	浦田会長
		第67回全国学校歯科医協議会（三重県総合文化センター）	浦田会長
医療対策	10月24日	医療対策小委員会 （１）抜歯についての同意書	永松理事他４委員
		医療相談	永松理事、岡田委員長他２委員
	25日	医療対策小委員会 （１）「熊本県歯科医師会医療対策法度」内容の検討	岡田委員長他３委員
	27日	医療対策小委員会 （１）医療事故報告書の書式改訂	永松理事、岡田委員長他全委員
	11月９日	医療対策小委員会 （１）医療相談事例検討	永松理事、岡田委員長他１委員
	15日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）日常臨床と法、各種報告書および同意書等の改訂 （３）医療対策講演　ほか	永松理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	24日	口腔保健センター事業に係る熊本県との意見交換会	小島副会長、松本理事
	26日	県による口腔保健センター見学（口腔保健センター）	松岡会員、柴田歯科衛生士
	11月１日	センター・介護委員会 （１）平成29年度委託事業	小島副会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他５委員
	９日	第１回県歯科保健推進会議（ホテル熊本テルサ）	松本理事
	11日	口腔保健センター運営打合せ （１）非常勤職員採用（２）協力歯科医師・歯科衛生士の研修	小島副会長、松本理事
厚生・医療管理	10月23日	厚生・医療管理小委員会 （１）九州各県担当者会（２）シニア倶楽部（３）医療管理講演会　ほか	宮井理事、池嶋委員長他１委員
	11月８日	厚生・医療管理委員会 （１）シニア倶楽部考察（２）九州各県厚生担当者会報告（３）医療管理講演会　ほか	八木常務理事、宮井理事他４委員
総務・医療連携	10月31日	第１回県がん対策推進会議（熊大附属病院）	牛島専務理事
	11月２日	がん拠点病院研修会（公立玉名中央病院） 「歯周病と関連疾患」　講　師：牛島専務理事　受講者：112名	牛島専務理事、宇治理事
	10日	保険医協会とのキックオフ・シンポジウム反省会（熊本市）	牛島専務理事、宇治理事
学　　院	10月24日	第２回学院入学試験委員会 （１）平成30年度推薦入学試験（出願者：59名、合格者：53名）	浦田会長、伊藤学院長、小島・渡辺副会長、牧・林副学院長、弘中教務部長
	30日	台北医学大学蔡恒惠教授との懇親会（熊本市）	伊藤学院長、牧・林副学院長、弘中教務部長

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

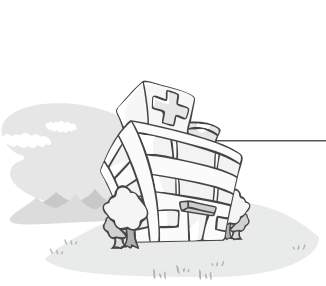
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

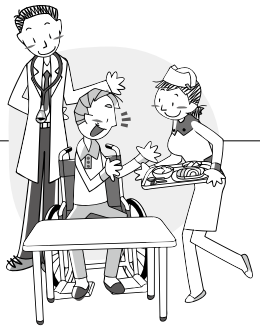
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
January 2018 No.739

笑顔ヘルC

2 主な行事予定 February

3日(土)	介護者歯科実技研修会(水俣・芦北会場) (特別養護老人ホーム 白梅の杜)
	施設基準届出に係る研修会
4日(日)	介護者歯科実技研修会(熊本会場)
7日(水)	第15回常務理事会
10日(土)	医療管理講演会
15日(木)	回復期病診連携歯科衛生士対象研修会
17日(土)	九地連協議会(ホテル日航熊本)
20日(火)	第16回常務理事会
24日(土)	障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業研修会
	第11回県医療・保健・福祉連携学会(県医師会館)
25日(日)	がん医科歯科連携全国共通ナショナルテキスト講習会
	歯科衛生士対象学術セミナー
27日(火)	第10回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

自分は、子供達に自然と触れさせるために、最近魚釣りを教えています。
元々自分の趣味の１つですが、子供達に興味を持たせるためには、まず釣れないといけません。
しかし自分が子供の時と違い中々、堤防から沢山釣ることは、難しくなりました。
おまけに子供達が安全に釣れる場所となると限られて、毎回悪戦苦闘です。
エサ付けとおまつりと親は、大忙しです。
でも釣れた魚を帰って食べると子供達は、大喜びで、魚に興味をもち、図鑑をよくみるようになりました。
特に刺身は、競い合って沢山食べます！
こんな感じで良い事づくしのようですが…家族で居酒屋に行くと最高のつまみの刺し盛りは、いつしか後から注文になりました。とりあえず唐揚げで…　(Y. T)

■発行日／2018年1月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷